

第7回 診断病理サマーフェスト

— 病理と臨床の対話 —

Diagnostic Pathology Summer Fest

Vol.7

テーマ：肝胆膵疾患の病理と臨床

開催日： 2013年 8月24日 (土), 25日 (日)

会場： ムルパルク京都

(<http://www.mielparque.jp/kyoto/>)

対象： 病理医, 放射線科医, 内科医, 外科医など

参加費： 20,000円 (初期・後期研修医, 大学院生15,000円)

August 24, 2013 12:50 – 18:30

第1部 肝臓

1. 上皮性腫瘍update
2. 非腫瘍性疾患の診断アプローチ

第2部 胆・膵

1. 膵管・胆管内腫瘍・腫瘍前駆病変update
2. 腫瘍と鑑別を要する炎症性病変

懇親会 (19:00 –)



ムルパルク京都

この会は、病理と臨床の対話を行なおうとするものです。お互いの対話によって理解し合い、明日の臨床に役立てることを目的としています。臨床医は病理を、病理医は臨床を学び、両者を結びつけて理解します。病理医のみならず、内科医、外科医、放射線科医の先生方も是非ご参加下さい。

August 25, 2013 9:00 – 12:30

第3部 病理検体の扱いと診断法

1. 細胞診検体の扱い- EUS-FNAを中心に
2. 新鮮検体の扱いと術中迅速診断

第4部 症例検討

◎講師 (講演順, 敬称略. *企画者)

- 中島 収 久留米大学 中央臨床検査部 教授
赤羽 正章 東京大学医学部放射線医学講座 准教授
佐野 圭二 帝京大学医学部外科学講座 教授
中沼 安二 金沢大学大学院医学系研究科形態機能病理学 教授
山本 和秀 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓内科学 教授
福嶋 敬宜* 自治医科大学病理学・病理診断部 教授
真口 宏介 手稲溪仁会病院消化器病センター センター長
木村 理 山形大学医学部外科学第一講座 教授
能登原 憲司* 倉敷中央病院病理検査科 主任部長
藤永 康成 信州大学医学部画像医学講座 講師
岡崎 和一 関西医科大学消化器内科学講座 教授
山雄 健次 愛知県がんセンター中央病院消化器内科 部長
若狭 朋子 大阪赤十字病院臨床検査部 副部長
三橋 智子 北海道大学病院病理部 准教授
平岡 伸介 国立がん研究センター研究所分子病理分野 ユニット長



主催： (社) 日本病理学会

第7回 診断病理サマーフェスト – 病理と臨床の対話 –

第1部 肝臓

1. 上皮性腫瘍update

肝細胞癌、混合型肝癌、胆管細胞癌、細胆管癌、細胞腺腫などを中心に、最近の疾患概念の整理と実際の診断、治療について解説します。

2. 非腫瘍性疾患の診断アプローチ

臨床データ、組織パターンからの基本的な病理診断へのアプローチ、組織所見を踏まえた治療方針決定などについて解説します。

第2部 胆・膵

1. 膵管・胆管内腫瘍・腫瘍前駆病変update

膵管内腫瘍の病理学的特徴を解説し、関連疾患についての画像診断、治療方針について内科医、外科医の立場から解説します。

2. 腫瘍と鑑別を要する炎症性病変

IgG4関連疾患とその他の腫瘍形成、胆管・膵管狭窄をきたす病変の概念と診断へのアプローチから、臨床診断および治療方針などを解説します。

第3部 病理検体の扱いと診断法

1. 細胞診検体の扱い- EUS-FNAを中心に

EUS-FNAの概説から細胞診検体の扱い方、診かたについて解説します。

2. 新鮮検体の扱いと術中迅速診断

肝胆膵外科領域の術中迅速診断の意義とその留意点、摘出検体の肉眼所見の取り方、検体処理法や切出し法などについて解説します。

第4部 症例検討

症例を通して肝胆膵病理についての理解をより深めます。

- ◎ サマーフェストへの参加を希望される方は下記病理学会ホームページにアクセスし「第7回診断病理サマーフェスト開催案内」より、WEB登録を行って下さい。

<http://pathology.or.jp/>

- ◎ 5月中旬受け付け開始（定員 先着200名）
- ◎ 受講可となられた方には6月頃より順次郵送にて振込用紙等お送りします。
- ◎ 初期・後期研修医，大学院生は，申し込み時にその旨をチェックしてください。参加費振り込みの際には別途所属長の署名による証明が必要となります。

〔お問い合わせ先〕

社団法人 **日本病理学会**

〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-5 聖堂前ビル7F

TEL 03-6206-9070, FAX 03-6206-9077

E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp